

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラス秦野教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実にすることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実に図るための取組等
1	整理整頓されていて清潔感がある。	日常的な清掃や消毒を行っている。	安全計画などの保護者への周知を行う。
2	保護者が同伴されているので、コベル以外での様子を聞くことができる。フィードバックがその場で丁寧に行うことができる。	療育を見学されている時間で、保護者と一緒にお子様の様子を見学しながら子育てについてのお話をしている。	保護者とのお話の中で、必要に応じて相談援助を行う。場合によっては関係機関につなげていくことも検討する。
3	AEDがある。 職員が救命講習や安全法などの講習に参加している。	定期的に事業所内でAEDの使い方や救命法を研修している。	研修等を継続する。 未受講の職員の受講の機会を設ける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童を担当しない職員が出てしまう。	週7稼働によるシフト勤務のため。 土日どちらか勤務の先生方が多く、金土もしくは日月でのお休み希望が多い。	指導員間でシフトを柔軟に組み替える。
2	OT/PT/STなど専門職が不在である。	保育士優先の雇用 雇用につながらない 人員基準等で長期的な募集が困難	経験豊かな保育士ならではの技術や知識を活用する。 研修等へ積極的に参加する。 募集要件に専門職を明記し雇用を促進する。
3	地域の行事などへの参加ができていない。 地域との交流がない。	発信力の不足 児童発達支援・保育所等訪問支援事業所の特性上、利用が限られてしまうための周知の困難さ	誰でも参加できる相談会や子どもたちが気軽に遊べるイベントを開催する。(周知の仕方も検討) 地域の相談所として場の提供する。 地域へ療育の理解を広めて垣根を低くしていくための活動力と行動力をつけていく。